

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	生涯学習審議会事業						会計	款	項	目	大事	小事
政 策	O3	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）						主管課	生涯学習課			
施 策	3-1	いつでも、どこでも、誰もができる生涯学習の推進						主管課長	中西 直人			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	生涯学習施策全般	意図	市民等の生涯学習に資するための施策の総合的な推進に関する重要事項等を調査及び審議し、答申し、又は建議してもらう。
事業内容		市民等の生涯学習に資するための施策の総合的な推進に関する重要事項及び生涯学習に関する事業等を調査及び審議し、市長又は教育委員会に答申し、又は建議してもらう。		
事業開始から現在までの状況変化		生涯学習を推進するため、社会教育委員会議等4つの既存の附属機関を整理統合して、平成20年4月に生涯学習審議会を設置した。平成31年1月に新たに委嘱をし、学識経験者2人、学校教育関係者3人、社会教育団体を代表する方3人、家庭教育分野を代表する方1人、市民等（公募）4人で構成。		

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名 称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	① 審議会の開催日数	5	6	1	回	→→	
	② 委員出席数（延べ人数）	44	52	11	人	↑↑↑	
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）	
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度			生涯学習審議会委員の任期満了に伴う改選を平成31年1月に行い、市民等の公募委員を3名から4名とした。	
事務事業の総コスト(a=b+c)	2,558,748	2,554,200	2,273,200				
事業費（b）(円)	275,448	316,800	64,800				
うち一般財源	275,448	316,800	64,800				
職員給与費(c)(円)	2,283,300	2,237,400	2,208,400				
人役・職員(人)	0.30	0.30	0.30				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)	0.20	0.20	0.20				
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価 必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
	市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
				コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充	(事業を拡大して継続すべき)			

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	審議に必要な資料を的確に委員に届ける。	③取組における課題(Check)	(左に同じ)
②H30に実施した取組(Do)	審議資料の審議会委員への送付が募集通知後に別に送付することがあった。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	審議に必要な資料の送付を召集通知に合わせて行うようにする。